

医療法人社団 おとふけこうめいかん 音更宏明館病院・ 増築棟



所在地：北海道河東郡音更町木野大通東17丁目1番6
 延床面積：468㎡
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、2階建
 設計：共立建設（株）
 施工：建築／佐々木建設（株）
 電気／北電力設備工事（株）
 完成：平成22年3月

S19

北海道・十勝の北部に位置する音更宏明館病院は、入院環境の向上を図るため、新たに2階建ての病棟を増築。照明は環境を配慮して先進のLED照明が採用されています。

省エネ性能に優れた照明を幅広く導入し、環境に十分配慮した照明計画

自然環境に恵まれた十勝の北部・音更町に、平成20年に開院した診療科目7科(内科・外科・循環器外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・人工透析科)を擁する地域密着型の病院です。入院環境の向上を図るため、病床数180の内5床部屋を4床部屋にし、その減床分を本院に隣接して増築された2階建ての病棟に移設。2床部屋2室、1床部屋4室、特別1床部屋2室、それに医局と理事長室が配備されています。

各病室のベース照明にはLEDダウンライトを、医局のベース照明にはLEDベースライトスクエアタイプ直付形を採用

増築された建物は、消費電力の少ないLED照明を幅広く採用し環境に十分配慮した照明計画となっています。それぞれの病室のベース照明は、小電力のLEDダウンライト900シリーズ広角形(調光用、効率重視タイプ白色相当、消費電力：13.9W)をベッドの足元側に配置。通常は50%調光とし、診察時は調光器により100%点灯にして色が正確に確認できるような配慮をしています。

また、ベッド灯には、間接照明・読書灯・常夜灯一体形タイプが採用されています。特別室のベッド灯にはLEDのフレキシブルアーム付(白色相当、消費電力：1.8W)が使用されており、熱が少なく、照射位置が自由に選択できるなど、快適で安全性の高い手元照明を可能にしています。

また、2階廊下にLEDダウンライト900シリーズ中角形(効率重視タイプ電球色相当、消費電力：13.3W)を採用し、温かな雰囲気のある移動空間をつくりながら、省エネを図っています。

1階医局の照明は、長時間点灯となるため、消費電力が少なく、熱線のないLEDベースライトスクエアタイプ直付形調光用(白色相当、消費電力：57W)を採用。蛍光灯器具と同等の明るさを確保しながら大幅な省エネを図るとともに、清潔で先進的なイメージの空間が創出されています。



病室(1人部屋)の照明 ベース照明にはLEDダウンライトを使用し、ベッド灯にはホスピタルブラケットを採用



病室(2人部屋)の照明 1人部屋と同様器具を設置

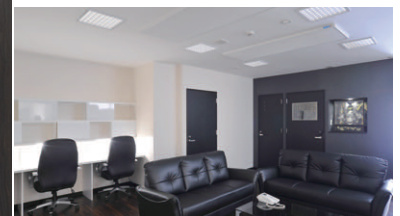
特別室1の照明 LEDダウンライトのほか、壁面に間接照明、ベッド灯には壁直付用LEDベッド灯を採用



特別室2の照明 天井に間接照明とLEDダウンライト、ベッド灯はLED



廊下の照明 LEDダウンライトを両壁面側天井に設置



医局の照明 LEDベースライトスクエアタイプ直付形を採用

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
病室	LEDダウンライト(調光用)	LEDD-70007MW-LD1	22	LED 消費電力：13.9W
		LEDD-70007ML-LD1	7	
	LED常夜灯	LEDD-00001N-LS1	8	LED 消費電力：0.7W
	LEDベッド灯	LEDA-21002W-LS1	2	LED 消費電力：1.8W
	ベッド灯(ホスピタルブラケット)	FHT-51801-EL15	6	FHP45W+FL20W
廊下	LEDダウンライト	LEDD-70003ML-LS8	10	LED 消費電力：13.3W
医局	LEDベースライト直付形(調光用)	LEDT-45401W-LD9	6	LED 消費電力：57W